

各地の取り組み 広島県東広島市

「親子の絆」をしっかりと感じるお母さんが増えるように

東広島市こども家庭課 家庭相談員 土居 和子

東広島市では、今年度5月31日、6月1日の2日間、東広島市役所の会議室で「BPプログラムファシリテーター養成講座」を開催しました。今回、養成講座開催について皆様を紹介する機会をいただき、たいへん光栄に感じています。私の日頃の仕事や、これまで子育て支援に取り組んできた想いなども織り交ぜながらご紹介させていただきたいと思います。

日ごろ思っていること

私は東広島市で家庭相談員をしています。家庭相談員とは、「0～18才までの子どもを持つ家庭のあらゆる相談を受ける」ことが仕事です。児童虐待、不登校、家庭内暴力、発達相談、子育て相談、またそれらの背景にある経済的困窮やDV、親の精神疾患など、その業務は多岐に渡ります。私はH21年度より家庭相談員を始めて6年目になりました。

みなさんもお存知のとおり、児童虐待の相談件数は年々右肩上がりに上昇しています。東広島市での児童虐待相談件数は、全国のデータ程の上昇率ではありませんが、高い値で推移しています。家庭相談員の所属している、「こども家庭課子育て支援係家庭児童相談室」では、相談業務の他に要保護児童対策地域協議会の運営、ケース管理なども行っています。そんな中H22年度から、児童虐待予防を目的に、児童虐待防止事業にも取り組んできました。

私はもともと、自分の子育て経験から心理的なサポートのできる子育て支援者になりたいと考え、社会人入試で臨床心理士の養成大学院に行き、臨床心理士を取得しました。子どもが幼かった大学院中には、自分自身でNP(Nobody's Perfect)に参加・体験し、「参加者であるお母さん達を大切にし、お母さんとして成長していくことを促し、繋げていく」という姿勢に感銘を受け、広島県であった「ひろしまこども夢財団」のNPのファシリテーター養成講座、続けてBPのファシリテーター養成講座を受講し、家庭相談員の仕事とは別にプログラムを実施してきました。

特にNPの養成講座の14人の受講生仲間とは、もう出会って4年になりますが、今でも必ず年1回は集まっています。ファシリテーター仲間と集まり、彼女達の取り組みや助言を聴くことで、東広島市での養成講座の実現に向けて具体的に何をすれば良いのかを考えることができました。BP参加者にとっての子育て仲間と同様、私にとっても子育て支援者仲間の大切さを感じたできごとでした。



養成講座計画

東広島市の家庭児童相談室では、子育ての悪循環に陥っているお母さんをアウトリーチで集め、1クール5回、6人のお母さん達を集め、ペアレントトレーニングプログラムを実施しています。これは今年で4年目になります。「褒めるコツ」「指示の出し方のコツ」など、子育てに必要な、具体的スキルを学びます。参加されたお母さんからは、「怒る回数が減り、子どもが甘えてくるようになった」「褒める子育てが良いとはよく聞いていたが、実際に具体的なやり方が分かり、子育てが楽になった」などの声が聞かれました。そんな中、プログラム修了直後には効果を実感されても、しばらくするとその効果が持続しないお母さんがいらっしゃったのです。詳しくは紹介できませんが、愛着関係の希薄さを抱えている方が、効果を持続しにくい傾向にあるのではと感じました。子どもにとってお母さんとの愛着はとても大切なものですが、お母さん達にとっても子育てをしていく上で大切なものです。我が子に愛着を感じることでできないお母さんは、本当に育児が辛く大変なものになってしまうのです。そんなお母さん達に出会い、私はそれまで自分が仕事以外でやってきた、BPプログラムの必要性を強く感じるようになりました。

BPプログラムは、皆さんご存知のように「親子の絆」づくりプログラムですが、テキストの内容や進行の仕方も、お母さん達の視点から子育てを考える構成のプログラムです。先に述べた通り、私も家庭相談員としてお母さん達のサポートをする中で、「親子の絆」(愛着)はお母さん達からみても、これから長い子育て人生の中でとても重要で大切な感覚です。普段の仕事で、児童虐待だけではなく不登校や家庭内暴力などお母さんにとっても辛くしんどい問題と、お母さんと一緒に向き合ってきました。「親子の絆」(愛着)をしっかり子どもに対して感じることでできているお母さんは、そんな難しい問題も自分のこととして乗

自ら起き上がる力がつくことの大切さ

り越えていかれる覚悟や力を持っていると、日々感じています。

以前から知っていたBPプログラムでしたが、このような出会い・サポート・体験から、今が実施に向けて動き出す時だと感じ、昨年度から養成講座の準備を始めました。

自分のことばで充分説明できること

東広島市では以前から、東広島サムエル保育園、サムエル西条保育園、青雲保育園の、それぞれの子育て支援センターでBPプログラムが年1、2回ずつ実施されていました。私もそこでファシリテーターをさせていただいていましたが、子育て支援センターという場所で実施するメリットをとっても感じていました。BPを行政の事業として実施していく開催場所として、子育て支援センターでできないかということ、まずは子育て支援センターの先生方の集まる会議で提案させていただきました。しかし、具体的にまだ見たこともないプログラムを検討することは難しいので、昨年度（H25年度）は、年6回のBPをこども家庭課主催で実施し、それぞれの子育て支援センターの先生方に見学に来ていただくことにしました。実際にお母さん達の変化・成長を目の当たりにしていただき、沢山の先生方に興味を持っていただけました。

私が一番苦労したことは、せっかく興味を持っていただいた先生方に、もっと具体的にBPの役割、なぜ必要なのか、なぜ行政が取り組むのかについて、こども家庭課としての想い、自分の想いを伝え説明していくことについてです。この点においては、説明の不十分さからしっかりBPを理解できないまま養成講座に参加された先生方のコメントから、戸惑っていらっしゃる様子が伺え、自分の力の至らなさからご迷惑をかけてしまったと、たいへん申し訳なく感じました。ファシリテーターとして、プログラムの実施はもちろんのことですが、プログラムの役割や意義などについてもしっかりと自分の言葉で説明できるようになっておくことの必要性をヒシヒシと感じたできごとで、私にとってとても勉強になりました。

持ちつ持たれつの関係

私事の話にはなりますが、私にとって良かったことは、東広島市の子育て支援者としてBPプログラムをベースに繋がれる仲間が増えたことです。家庭相談員の仕事でもよく感じることでありますが、相談員の私だけではサポートにも限界があります。周囲の支援者や社会がサポートできる体制を取ること支援は長続きしていきます。そしてお母さん自身が周囲にSOSを出せる力がついていきます。

お母さん達の傾向として、表面的に仲が良く話ができても自分の胸の内を話せず、1人で育児の

ストレスをため込みしんどくなってしまうているお母さんに出会うことがあります。NPでは2人のファシリテーターが、持ちつ持たれつプログラムを進行していく姿が、お母さん達が持ちつ持たれつ子育てをしていくモデルになっていくと考えられています。もちろんBPのプログラム内でのファシリテーターの協力については同じことが言



えると思いますが、プログラム以外でもファシリテーター同士の繋がりはお母さん達のモデルになり、社会で子どもを育てることに繋がっているのではないかと考えています。

いつでもどこでも参加できるように

東広島は広島県のほぼ中央に位置し、人口は約18万人、年間出生数は1800人前後で推移しています。面積も広く、過疎で高齢化の地域と、過密で子育て世帯の多い地域があり、昔ながらの地元の人が多く暮らす地域と、転勤世帯の入れ替わりの激しい地域など、同じ東広島市でも全く地域性の異なる場所が混在しています。その地域ごとに出生数もまちまちで、社会資源もまちまちですが、今後東広島市では、初めての赤ちゃんを育てるお母さんが皆さんBPを受けられる体制が取れるよう考えているところです。いつでもどこかでBPが開催されている、どこの地域の人でも参加できるよう検討しているところですが、まだまだ課題が多いことも確かです。H26年度は、東広島市内の子育て支援センターで18回のBP実施を予定しています。

虐待対応に直結した家庭児童相談室での児童虐待防止事業としては、「今にも子どもに手をあげてしまいそうな母親が、あげずに済む為の」というような虐待予防として効果がすぐに見て取れるわけではありません。しかし、BPプログラムに参加した親子が子育ての悪循環や問題に直面して倒れてしまっても、自ら起き上がる力がつくことで、子育てが楽になるお母さんが増えていくことが期待されます。結果として、子育ての悪循環を自ら断ち切ることができれば、児童虐待のような深刻な事態にならずに済むかもしれないし、もし深刻な事態に陥ったとしても、ペアトレやその他福祉サービス、社会資源の利用をきっかけに立ち直ることができるのではと考えています。

また、BPで他のお母さんと繋がることを恐れない、心地よく感じる事ができた体験は、地域の人とも繋がっていける人材になっていくのではと考えています。まずは子育ての持ちつ持たれつから、それが将来的には地域社会での持ちつ持たれつできる雰囲気まで繋げることができれば、東広島市の子育て力の底上げはもちろん、地域の雰囲気が、お母さんにも子どもにも、障害のある方も高齢者にも優しい町に繋がっていくのではないかと夢を大きく膨らませているところです!!

